

目 次

第 1 章	調査目的および調査概要	1
1.1	調査目的	1
1.2	調査概要	1
1.2.1	市町村向けアンケート調査	1
1.2.2	施設管理者向けアンケート調査	1
第 2 章	市町村向けアンケート調査	2
2.1	調査対象	2
2.2	アンケートの内容	6
2.3	集計結果	7
2.3.1	避難支援の枠組み構築に係る現状・課題	7
(1)	災害時要援護者の定義	7
(2)	地域住民等が主体的に行う支援	8
(3)	水害時を想定した避難支援計画	9
(4)	水害時の避難支援や情報伝達の庁内体制整備状況	11
(5)	水害時の避難支援や情報伝達の地域内での取組み状況	12
(6)	災害時要援護者個人の避難支援に係る福祉視点での取組み状況	15
(7)	福祉担当部局としての関わり方	17
(8)	現在の支援方策の推進・検討状況（福祉担当部局）	20
2.3.2	災害時要援護者個人への河川情報伝達や避難に係る現状・課題	21
(1)	災害時要援護者個人や支援者への避難情報伝達体制の状況	21
(2)	避難情報における河川情報の取扱い状況	24
(3)	避難情報の文面に用いる河川情報の用語	28
(4)	洪水予報等の災害時要援護者個人や支援者への伝達実績	29
(5)	洪水予報を単独で配信・広報した実績	36
(6)	洪水予報を受信してから配信作業開始までの所要時間・配信に活用した手段	37
(7)	安否確認及び避難行動支援について	38
(8)	水害時の避難情報伝達の課題	45
2.3.3	避難支援策の検証・改善や、避難支援に有効な防災情報へのニーズ	53
(1)	災害時要援護者個人の避難に要する時間	53
(2)	検証結果を踏まえた現在の取組み	54
(3)	支援者が要援護者を訪問するまでの時間	55
(4)	要援護者の自宅から避難所までの時間	55
(5)	災害時要援護者個人の避難支援に役立つ防災情報へのニーズ	56

(6)	洪水ハザードマップ掲載情報以外に避難支援プラン作成上必要な情報	57
2.4	市町村向け調査結果のまとめ	58
(1)	災害時要援護者個人の避難支援計画の現状	58
(2)	災害時要援護者個人の避難支援に係る福祉部局での取組み状況	58
(3)	災害時要援護者個人や支援者へ伝達する避難情報の内容等	58
(4)	洪水予報等の災害時要援護者個人や支援者への河川情報の伝達	59
(5)	安否確認及び避難行動支援について	59
(6)	災害時要援護者個人の避難に要する時間	59
(7)	災害時要援護者個人の避難支援に役立つ防災情報へのニーズ	59
(8)	支援方策推進の程度別の特徴について	59
(9)	水害被害経験の有無による特徴について	60
(10)	行政の関与の程度による特徴について	61
第3章	災害時要援護者利用施設管理者向けアンケート調査	62
3.1	調査の対象	62
3.1.1	調査対象	62
3.2	アンケートの内容	64
3.3	集計結果	65
3.3.1	施設の種類、規模等	65
(1)	施設の種類	65
(2)	施設の利用方法	67
(3)	施設形態	68
(4)	施設の構造	71
3.3.2	施設の防災対策の状況	73
(1)	建物そのものの防災対策の状況	73
(2)	施設の防災計画の状況	79
(3)	災害時のための備蓄や機材の状況	85
(4)	施設で備蓄しているもの	92
3.3.3	避難訓練への取組み状況	99
(1)	地震を想定した場合の避難訓練	99
(2)	火災を想定した場合の避難訓練	100
(3)	土砂災害を想定した場合	101
(4)	水害を想定した場合の避難訓練	102
3.3.4	災害時に情報を入手する手段	108
(1)	災害時の情報収集活動	108
3.3.5	水害に対する知識や避難の考え方	112
(1)	洪水ハザードマップの認知	112
(2)	施設の浸水可能性の認知	117

(3)	水害時の避難に対する認識	122
(4)	「洪水予報」の伝達対象施設であることの認知	127
3.3.6	河川情報や避難情報に対する情報入手意向	132
(1)	精度に課題のある早めの避難情報の取扱い	132
(2)	精度に課題のある河川はん濫の予測情報の取扱い	137
3.3.7	今後必要な取組み	142
(1)	災害時要援護者を避難させる上で必要な取組み	142
3.3.8	過去の水害時の経験	143
(1)	何らかの避難対応をとった経験	143
(2)	どのような情報や状況をもとに避難させたか	145
(3)	どのように情報を知ったか	146
(4)	別な場所へ避難させる際に気がかりだったこと	147
(5)	施設内の高所へ避難させる際に気がかりだったこと	150
3.4	施設管理者向け調査結果のまとめ	153
(1)	建物そのものの防災対策の状況	153
(2)	施設の防災計画の状況	153
(3)	避難訓練への取組み状況	153
(4)	災害時において情報を入手する手段	153
(5)	水害に関する知識や避難の考え方	154
(6)	河川情報や避難情報に対する情報入手意向	154
(7)	過去の水害時の経験（避難、河川・防災情報の利用状況）	154
(8)	施設種類別の特徴	155
(9)	施設の利用方法別の特徴	158
(10)	施設形態別の特徴	159
第4章	災害時要援護者への情報伝達、避難支援上の課題	160
4.1	災害時要援護者利用施設に関する課題	160
4.2	災害時要援護者個人に関する課題	163
	【参考資料】	
	・災害時要援護者個人に対する自治体の避難支援に関するアンケート調査	166
	・災害時要援護者施設の防災対策に関するアンケート調査	174